

522

特277

629

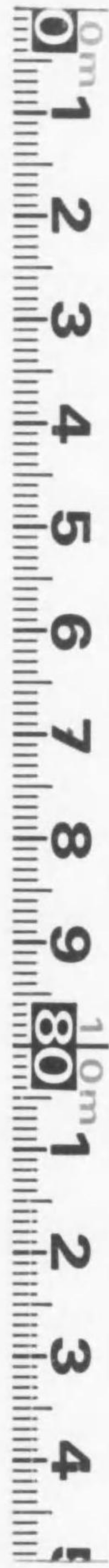
特277-629



*76W10568 *

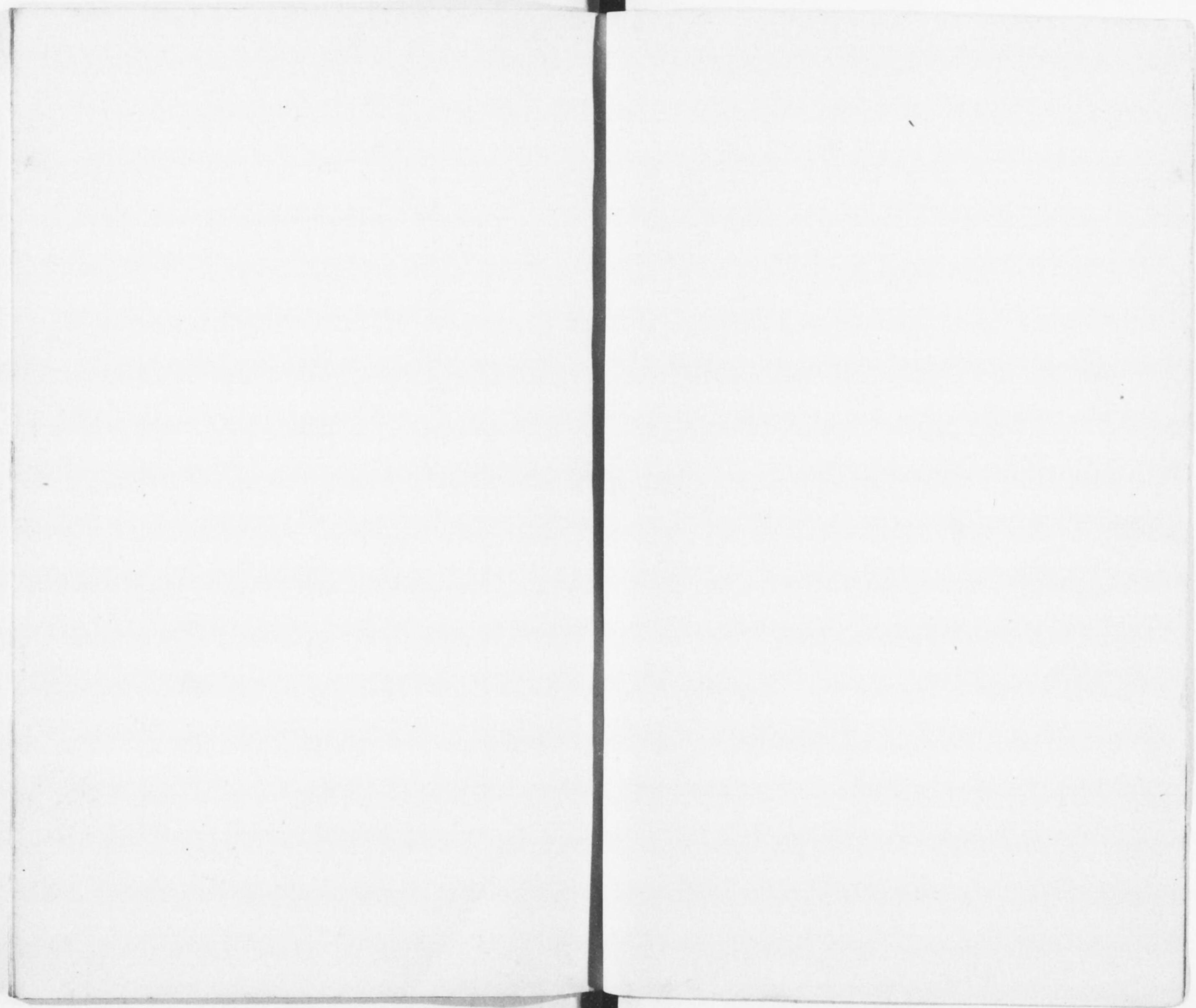
商店法解説

普及版



始







日本檢察學會編

商
店
法
解
說
普
及
版

東京
立
興
社
發
行





76W10568



序

我國に於ける商店の營業時間は、傳統的に冗長不規律であり、休日制の如きも亦未だ一般に普及して居ない爲に、其の従業者に關する保健上の問題に付適切な對策が必要とされて來た。特に輓近此等商業に従事する壯丁の躰格が他の一般有業者に比較して最も劣等であるといふ寒心すべき事態が發表された。從來我國に於ける勞務者の保護に關する法律としては、工場又は鑛山等に從業して居る者の爲に、工場法や鑛業法が制定されて居るが、商店使用人に關しては何等保護の規定がなかつたのである。されば商店使用人の爲に、從來の冗長不規律な營業時間を適當に制限し、休日制を設けて保健衛生の保護を圖ることは、現下の情勢に鑑み最も緊要なりとせられ本法の制定を見るに至つたのである。本法の適用範圍は全國の市街地及之に準ずる區域（主務大臣の指定したる町村）に在る一般店舗即ち物品

序

一

販賣業と理容業を営む店主と及其の使用人に對してである。此の適用を受くべき全國に於ける店舗は約百萬、而して其等使用人は約百四十萬人と謂はれて居る。斯かる多數の人及廣汎な地域に亘る此の文化的社會立法は近く實施せられるであらうが研究と理解の上に相互協力して法の圓滑な運用を圖ることに甞めたい。

昭和十三年初夏

編者

商店法解説目次

一 正文

商店法……………一

二 本法制定ノ理由

本法制定理由ノ説明……………七

三 逐條審議

第一條……………二

主務大臣ノ指定スル町村ノ範圍……………二

本條第二項物品販賣業又ハ理容業ノ範圍……………二

本條ニ所謂物品販賣業ノ意……………三

目次……………一

本條第二項ニ所謂物品販賣業ノ範圍……………一四

本法ニ物品販賣業ト異ナル理容業ヲ特ニ加ヘタル理由……………一六

本法ヨリ料理店飲食店ヲ除外シタル理由……………一七

飲食店ト物品販賣業トヲ兼營スル場合ト本條ノ適用……………一八

親子兄弟等デ經營スル場合ト本法ノ適用……………一九

使用人ナキ本條所定ノ店舗ト本法ノ適用……………二〇

通信販賣業ト本法ノ適用……………二〇

出張販賣ト本法ノ適用……………二二

薬局ト本法ノ適用……………二三

第二條……………二五

本條ニ所謂閉店ノ意……………二六

閉店後ノ商品ノ發送運搬ト本條ノ適用……………二七

閉店時刻ノ表示方法竝之ガ取締……………二八

本條第二項ニ所謂「緊急ノ事由」ノ意……………二九

第三條……………三〇

使用人ヲ使用セザル店舗モ一律ニ閉店時刻ヲ午後十時ト定メタル理由……………三〇

本條第二項ノ適用ヲ受クベキ地域……………三一

本法ノ適用ヲ受クル商店ト之ヲ受ケザル商店トヲ兼營スル場合ト閉店ノ時刻……………三二

閉店後ニ於ケル取引以外ノ執務……………三三

閉店時刻ノ法意……………三六

閉店時間ヲ定メ開店時間ヲ規定セザル理由……………三七

第四條……………三九

本條ニ一年ヲ通ジ「六十日以内」ト定メタル理由……………四〇

本條第一項「前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得」ノ意竝ニ第二項「前二條ノ規定ヲ適用セズ」ノ意……………四一

行政官廳ノ繰延ブルコトヲ得ル時刻ノ限度……………四二

第五條……………四三
 本條ニ月一回ノ休日ト規定シタル根據……………四三
 病氣休日ノ場合ト本條ノ休日……………四四
 第六條……………四五
 本條ニ所謂停車場又ハ船舶發着所ニ於ケル店舗ノ意……………四五
 本條ニ所謂主務大臣ノ指定スル場所ノ意……………四六
 第七條……………四七
 十六歳未滿ノ者ニ對スル休養ト労働時間ノ制限……………四八
 本條第二項ニ「一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ之ヲ與フベシ」ノ意……………四八
 本條第四項ニ所謂行政官廳ノ意……………四九
 工場ト商店トガ同一構内ニ在ル場合使用人ノ計數竝本條ノ休憩時間ノ計算……………四九
 第八條……………五〇
 第九條……………五〇

第十條……………五二
 本條ニ「危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得」ノ意……………五二
 第十一條……………五三
 本條第二項ノ所謂「當該官吏」ノ意……………五三
 臨檢ノ必要ト其ノ意……………五三
 第十二條……………五七
 第十三條……………五七
 第十四條……………五七
 第十五條……………五七
 第十六條……………五七
 第十七條……………五八
 本條ニ所謂營利ヲ目的トセザル物品販賣若クハ收容ノ事業ノ意……………五八
 本條但書ニ所謂「國、道府縣、市町村其ノ他、之ニ準ズベキモノニ付テハ店舗管理人ニ關

スル規定及罰則ハ此ノ限ニ在ラズ」ノ意……………六〇

第十八條……………六一

一般露店ト本法トノ關係……………六一

附則……………六二

目次(終)

商店法解説

一、正文

商店法 (昭和十三年三月二十六日法律第二十八號)

第一條 本法ハ市及主務大臣ノ指定スル町村(町村ニ準ズベキモノヲ含ム)ニ於テ物品販賣業又

ハ理容業ヲ營ム店舗ニ之ヲ適用ス

前項ノ物品販賣業及理容業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

正文

第二條 店主ハ本法ニ定ムル閉店時刻以後顧客ニ對シ前條ノ營業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ閉店時刻前ヨリ引續キ店舗ニ在ル顧客ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

店主ハ閉店時刻以後ト雖モ負傷、疾病、災害其ノ他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シ其ノ必要ニ應ズル物品ヲ販賣スルコトヲ得

第三條 閉店時刻ハ午後十時トス

行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地域ヲ限リ前項ノ時刻ヲ午後十一時迄繰延ブルコトヲ得

第四條 業務ノ繁忙ナル時期ニ付行政官廳必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限リ一年ヲ通ジ六十日以内前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得

前項ノ外行政官廳臨時必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限リ前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得

第五條 店主ハ使用人ニ毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與フベシ

第六條 左ニ掲グル店舗ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ第二條及第三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

一 興行場、觀覽場、遊技場其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル店舗

二 展覽會場、共進會場、博覽會場其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル店舗

三 停車場又ハ船舶發着所ニ於ケル店舗

四 其ノ他主務大臣ノ指定スル場所ニ於ケル店舗

前項第二條ノ店舗ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第七條 常時五十人以上ノ使用人ヲ使用スル店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未滿ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十一時間ヲ超エテ就業セシムルコトヲ得ズ

前項ノ店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未滿ノ者又ハ女子ノ就業時間ガ六時間ヲ超ユルトキハ少クトモ三十分、十時間ヲ超ユルトキハ少クトモ一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ之ニ與フベシ

業務ノ繁忙ナル時期ニ於テハ店主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ一年ヲ通ジ六十日以内第一項ノ就業時間ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ外臨時必要アル場合ニ於テハ店主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ第一項ノ就業時間ヲ延長スル

コトヲ得

第八條 前條第一項ノ店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未滿ノ者及女子ニ毎月少クトモ二回ノ休日ヲ與フベシ

業務ノ繁忙ナル時期其ノ他臨時必要アル場合ニ於テ店主行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ休日ヲ一回ト爲スコトヲ得

第九條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ店舗又ハ其ノ附屬建設物ニ於ケル使用人ノ危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得

第十條 天災事變ノ爲又ハ事變ノ虞アル爲必要アル場合ニ於テハ主務大臣ハ期間又ハ地域ヲ限リ本法ノ全部又ハ一部ヲ適用セザルコトヲ得

第十一條 行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ店舗又ハ其ノ附屬建設物ニ臨檢セシムルコトヲ得但シ使用人以外ノ者ノ居室ハ此ノ限ニ在ラズ

當該官吏前項ノ規定ニ依リ臨檢スル場合ハ其ノ證票ヲ携帯スベシ

第十二條 店主ハ店舗ノ管理ニ付一切ノ權限ヲ有スル店舗管理人ヲ選任スルコトヲ得

店主本法施行地内ニ居住セザルトキハ店舗管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

店舗管理人ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ但シ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者及支配人ノ中ヨリ選任スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 前條ノ店舗管理人ハ本法及本法ニ基キテ發スル命令ノ適用ニ付テハ店主ニ代ルモノトス

店主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テ店舗管理人ナキトキハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ付亦前項ニ同ジ

第十四條 店主又ハ前條ノ規定ニ依リ店主ニ代ル者第二條第一項、第五條、第七條第一項第二項又ハ第八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十五條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十六條 店主又ハ第十三條ノ規定ニ依リ店主ニ代ル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇

人共ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ハ營利ヲ目的トセザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス店舗ニ之ヲ準用ス但シ國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ付テハ店舗管理人ニ關スル規定及罰則ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 本法ハ汽車、汽船其ノ他ノ交通機關内ニ於ケル店舗及露店ニ之ヲ適用セズ

行政官廳ハ物品販賣業ヲ營ム露店ニ付終業スベキ時刻ヲ定ムルコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二、本法制定ノ理由

本法制定ノ理由説明

我國ニ於ケル商店ノ營業時間ハ、概シテ冗長不規律デアリマシテ、閉店時刻ガ午後十時、十一時ヲ超ユルモノガ少クナイノデアリマス、又休日制ノ如キモ、未ダ一般ニハ普及シテ居ナイノデアリマシテ、此ノ點ハ商店ニ働イテ居ル者ノ保健衛生上、甚ダ遺憾トスル所デアリマス、最近ノ壯丁ノ體格ヲ見マシテモ、商業ニ従事シテ居ル者ガ、有業者中最モ體格ガ劣ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ状態デアリマスルノデ、現在ノヤウナ冗長ナ營業時間ヲ適當ニ制限致シマシテ、又商店使用人ニ對シテ、毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與ヘマシテ、以テ保健衛生ノ保護ヲ圖ルコトハ、現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ從來我國ニ於キマシテハ、勞務者ノ保護ニ關スル法律ト致シマシテハ、工場法トカ、鑛業法トカ、主トシテ工場ヤ鑛山等ニ働イテ居ル者ニ限ラレテ居リマシテ、商店ニ働イテ居ル者ニ付キマシテハ、何等保護法規ガ

及シテ居ナイノデアリマス、當局ハ夙ニ此ノ點ニ鑑ミマシテ、是等商店ニ働イテ居ル者ノ保護ヲ圖リタイト考ヘテ、調査研究ヲ續ケテ居タノデアリマスガ、此ノ程成案ヲ得マシタノデ、本法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、本法案ノ内容ニ付テ其ノ概要ヲ申上ゲマスルト次ノ如キモノデアリマス、第一ニ適用範圍ヲ申上ゲマスト、法規ヲ以テ商店ノ營業時間ヲ制限スル必要ノアリマスノハ、主トシテ市街地デアリマスルカラ、本法ハ市ニ付キマシテハ、總テ之ヲ適用スルコトト致シマシタ、町村ニ付キマシテハ、市ト隣接シテ居ル爲ニ是ト不當競争ヲ生ズル虞アルモノニ付テ、主務大臣ガ之ヲ指定スルコトト致シテ居リマス、本法ノ適用ノアリマスノハ、物品販賣業及ビ理容業ヲ營ム店舗デアリマス、而シテ右ハ營利ヲ目的トスルト否トヲ區別スベキ理由ガアリマセヌノデ、營利ヲ目的トセザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス店舗ニモ、之ヲ準用スルコトト致シマシタ、併シ料理店、飲食店等ニ付テハ、業態ノ性質上同様ニ制限スルコトガ困難デアリマスノデ、之ヲ本法ノ適用ノ外ニ置イタノデアリマス、第二ニ閉店時刻ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ店舗ノ營業時間ヲ制限シ、以テ間接ニ商店使用人ノ保護ヲ圖ラントスルモノデアリマス、而シテ本法ハ閉店時刻ヲ原則トシテ午後十時トシ、閉店時刻後顧客ニ對スル營業ヲ禁ジタノデアリマス

併シ閉店時刻前ヨリ店舗ニ在ル顧客ニ對スル營業ニ付テハ、例外ニ認メテ居リマス、尙ホ負傷、疾病、災害其ノ他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シテハ、閉店時刻後ト雖モ、其ノ必需品ノ販賣ニ限り例外ヲ認メテ居リマス、閉店時刻ハ原則トシテ午後十時デアリマスガ、夜間特ニ股賑ナル地域ニシテ、右ノ原則ニ依ラシメルコトガ著シク困難ナルモノニ付テハ、行政官廳ニ於テ之ヲ午後十一時マデ繰延ブルコトヲ得ルコトト致シテ居リマス、而シテ右ノ繰延ヲ必要トスル地域ニ付テハ、命令ノ定ムル所ニ依リ關係團體ノ意見ヲ聽キ、之ヲ決定スルコトニ致ス豫定デアリマス、尙ホ商店ハ年末年始、中元、祭日等ニ於テハ、長時間ノ營業ヲ爲ス慣習ガアリマスノデ、其ノ必要ニ應ズル爲メ、年六十日以内ニ於テ閉店時刻ノ繰延ヲ認ムルコトトシ、更ニ此ノ外特ニ臨時必要ニ依ル例外ヲ認メ實際上ノ不便ナキヲ期シテ居リマス、第三ニ休日ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ使用人ニ對シ、毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與フベキコトヲ定メテ居リマス、休日ハ營業其モノヲ休止スル休業制ニ依ラシメルコトガ望マシイノデアリマスガ、法律ヲ以テ一律ニ休業セシメルコトハ之ヲ避ケタノデアリマス、第四ニ閉店時刻及ビ休日ノ例外ニ付テ申上ゲマスト、興行場、博覽會場、停車場等ニ於ケル賣店ハ、其ノ營業場所ノ關係上、閉店時刻ノ制限ヲ緩和スルノ必要

ガアリ、而モ他トノ不當競争ノ虞モ少イノデ、閉店時刻ノ例外許可ノ規定ヲ設ケタノデアリマス
 第五、ニ大商店ノ就業時間及ビ休日ニ付テ申上ゲマス、大商店ノ營業ハ繁忙緊張ノ程度ガ、到底
 通常商店ノ比デハアリマセヌノデ、年少者及ビ女子ニ付テハ、工場法ト同様ノ趣旨ニ依リ就業時
 間及ビ休日ノ規定 設ケタノデアリマス、即チ常時五十人以上ヲ使用スル大商店ニ於ケル十六歳
 未滿ノ者及ビ女子ニ付テハ、就業時間ヲ一日十一時間以内トシ、休日ヲ毎月少クトモ二回ト定メ
 タノデアリマス、尙ホ年末、年始、中元、祭日等、業務繁忙ナル時期及ビ臨時必要ナル場合ニハ
 一般商店ニ對スルト同様ノ趣旨ニ依リ、就業時間及ビ休日ニ付キ例外ヲ認メテ居リマス、第六、ニ
 交通機關内ニ於ケル店舗及ビ露店ニ關スル事項ニ付テ申上ゲマス、本法ハ汽車、汽船其ノ他ノ
 交通機關内ニ於ケル店舗ニ之ヲ適用スルコトハ困難デアリマスノデ、之ヲ本法ノ適用ノ外ニ置イ
 タノデアリマス、次ニ露店ニ付テモ同様之ヲ本法ノ適用ノ外ニ置イタノデアリマス、併シ露店ノ
 無制限ナル營業ガ、本法ノ適用ヲ受クル商店ニ一種ノ不當競争トナル場合ニ於テハ、行政官廳ハ
 露店ニ付キ終業スベキ時刻ヲ定ムルコトヲ得ル旨ヲ規定シテ居リマス、以上ガ本法案ノ概要デア
 リマス

三、逐條審議

第一條 本法ハ市及主務大臣ノ指定スル町村(町村ニ準ズベキモノヲ含ム)ニ於テ物品販賣業又ハ理容業
 ヲ營ム店舗ニ之ヲ適用ス

前項ノ物品販賣業及理容業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

主務大臣ノ指定スル町村ノ範圍

問 「本法ハ市及主務大臣ノ指定スル町村」トアリマスガ、市ト申シマスレバ、現在全國ノ各都市
 デアリマセウガ、町村ト云フノハドウ云フ箇所ヲ指シテ言フノデアリマセウカ、大體ノ分ツタ
 町村ダケヲ擧ゲテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

答 第一條ニゴザイマス指定町村ノ問題ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、大キナ六大都市其ノ他ニ
 付キマシテハ、近年隣接町村ノ合併ガ行ハレマシタノデ、大シテ本法ノ第一條ニ依ツテ指定ス
 ル隣接町村ハナイト思ヒマス、其ノ他ノ都市ニ付キマシテ、昨年ノ春頃ニ府縣ニ通牒ヲ出シマ
 シテ此ノ法律ガ出來マシタ場合ニ指定スル町村トシテ考ヘラレ得ルヤウナ町村ニ付テ報告ヲ求

メタノデアリマス、ソレニ依リマスト數モ澤山ゴザイマセヌシ、愈々本法が實施サレタ場合ニ於テ其ノ中ノドノ程度指定サレルカト云フコトハ、尙ホ其ノ際ニナリマシテカラ府縣長官ノ意見モ聽イテ決定スル見込デアリマシテ、現在ノ所ハ餘リ澤山ノ町村ガ之ニ依ツテ指定サレル必要ハ大シテナイヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

本條第二項物品販賣業又ハ理容業ノ範圍

問 第一條ノ第二項ニ物品販賣業竝ニ理容業トアリマスガ、此ノ物品販賣業ハドウ云フ種類ニ分ケテ居リマスカ

答 物品販賣業及ビ理容業ノ範圍ハ、第一物品販賣業ト申シマスノハ小賣業ト卸賣業ト兩方ヲ含シテ居ルデアリマス、ソレカラ料理店業ト飲食店業ヲ含マナイト云フコトニ致シテ居リマス、又理容業ト申シマスノハ理髮業、結髮業、美容術業、此三業ヲ包含致シテ居ルノデアリマス

本條ニ所謂物品販賣業ノ意

問 此ノ物品販賣業ト云フ文字ガアリマスガ、是ハ何カ他ニモ斯ウ云フ字ガアツテ、何カ根據ガアルノデスカ、ドウモチヨツト斯ウ範圍ガ多少明確ヲ缺クヤウナ點ガアリハシナイカト思フノ

デスカ、其ノ點ヲチヨツト伺ツテ置キタイ

答 物品販賣業ト云フ言葉ハ、私ノ只今一例トシテ申上ゲマス例トシテハ、營業收益税法ニズツト營業收益税ヲ課セラレル業體ガ列シテ居リマス、其ノ中ニ此ノ物品販賣業ト云フ字ガアリマシテ勿論其ノ方デハ各種ノ業體ガ列シテ居リマスカラ、自ラハツキリスルト思ヒマスガ、此ノ場合ハ理容業ト二ツシカアリマセヌカラ、チヨツト見テ甚ダ不明確ナヤウナ感じガスルコトハ誠ニ御尤ト思ヒマスガ、大體營業收益税法ニ書イテアリマス物品販賣業ト同ジ範圍デアリマス營業收益税法ニ書イテアリマス物品販賣業ハ、有ユルモノヲ非常ニ廣イ意味デ包括シテ居ルヤウデゴザイマス、略ソレト同ジ扱ヒヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

【參照】 營業收益税法 (大正十五年三月二十七日) 法律 第十一號

- 第二條 本法施行地ニ營業場ヲ有シ左ニ掲クル營業ヲ爲ス個人ニハ本法ニ依リ營業收益税ヲ課ス
- 一 物品販賣業(動植物其ノ他普通ニ物品ト稱セサルモノノ販賣ヲ含ム)
- 二 銀行業
- 三 無盡業
- 四 金錢貸付業
- 五 物品貸付業(動植物其ノ他普通ニ物品ト稱セサルモノノ貸付ヲ含ム)

- 六 製造業(瓦斯電氣ノ供給、物品ノ加工修理ヲ含ム)
- 七 運送業(運送取扱ヲ含ム)
- 八 倉庫業
- 九 請負業
- 十 印刷業
- 十一 出版業
- 十二 寫眞業
- 十三 席貸業
- 十四 旅人宿業(下宿ヲ含ミ木賃宿ヲ含マス)
- 十五 料理店業
- 十六 周旋業
- 十七 代理業
- 十八 仲立業
- 十九 問屋業

本條第二項ニ所謂物品販賣業ノ範圍

問 此ノ料理屋、飲食店ト云フノハ、御承知ノ通りニ從來府縣令ニ依ツテ時間ノ制限ヲ物ニ依ツテ警察ノ方デヤツテ居ルノデアリマス、ソコデ萬ガ第一條ノ勅令ヲ以テ定メルト限定シテア

ルカラ、料理屋、飲食店ニハ絕對ニ時間ノ制限ハ出來ナイト云フヤウナ解釋ニナリマス、單リ將來此ノ法典ヲ料理屋、飲食店、旅館ナドハ將來相當ノ時機ニ考ヘル積リデアルガ、今ハ少シ早イカラト云フ御答辯ガアリマシタガ、萬一ソレヲ誤解シテ、モウ料理店、飲食店ハ絕對ニ時間ノ制限ハナイモノデアツテ、從來ノ如ク府縣令ナンドデモ時間ノ制限ハ出來ヌ、斯ウ云フコトニナツタラ、大變ダラウト思フノデアリマス

答 第一條ノ第二項ニ書イテゴザイマス通り、物品販賣業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルト云フノデ、此ノ勅令ニ認メルベキ事項トシテ、私共要求シテ居リマス事項ハ、參考資料トシテ御手許ニ差上ゲテゴザイマス物品販賣業ト申シマス、マア常識的ニ申上ゲマシテ飲食店或ハ料理屋ガ入ラナイノガ通念デナカラウカト考ヘテ居リマスケレドモ、此ノ業體ヲズツト列ベテ置イテ、物品販賣業ガアリ、ソレニ肩ヲ列ベテ飲食店、料理店ト云フノガアルト、ハツキリスルケレドモ、物品販賣業ダケヲ書イテ置キマス、場合ニ依ツテハ料理店、飲食店ト云フヤウナモノモ入ルノデナカラウカト云フ疑問モ生ズル處ガアルト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、謂ハバ通俗的ニ物品販賣業ト云フノハ小賣ト卸賣ヲ含ムケレドモ、料理店、飲食店ハ之ヲ含マナイ、

斯ウ云フヤウニ書イタ次第ナノデアリマス

本法ニ物品販賣業者ト異ナル理容業ヲ特ニ加ヘタル理由

問 理容業ハ從來モ特別ナ業務トシテ、警察ノ方ノ監督モ相當嚴重ナモノデアツテ、他ノ一般物品販賣業トハ餘程異ツテ居リマスシ、又業者ガ技術者デ、技術ニ依ツテ生活シテ居ル者デアリマスカラ、警察ノ監督ヲ多ク受ケル觀覽場、飲食店其ノ他ヲ別個ノモノニセラレタ意味ニ於テハ、理容業モヤハリ別個ナモノニナルベキ性質ノモノト思フ、特ニ理容業ダケヲサウ云ツタ業態ノ中カラ選ビ出サレマシタノハ、ドウ云フ譯デアルカ、技術者ヲ集メテヤツテ居ル特殊ノ社會ノ要求ニ應ズル業務ヲ、特ニ一ツダケ合併サレタノハドウ云フ譯デアリマスカ

答 御議論ノヤウナ理窟カラ出發シテ居ル譯デハナイノデアリマス、現在ノ實情ニ著眼致シマスト、先刻他ノ委員カラモ御話ガアリマシタ通り、殆ド全國ニ互ツテ一箇月ニ二日位ノ休日ヲ與ヘテ居ルト云フ實情ニマデ進ンデ居リマス、其ノ實情ヲ取入レテ、其處ニ著眼致シマシテ、理容業ヲ入レテ居ル譯デアリマス、業務ノ性質カラ取入レタト云フコトニハナツテ居ラヌノデアリマス

本法ヨリ料理店飲食店ヲ除外シタル理由

問 此ノ商店法ハ物品販賣業、理容業ト云フコトニナツテ居リマシテ、料理店、飲食店ト云フヤウナモノハ此ノ本法ノ適用カラ除外サレテ居ル、併シ使用人保護ト云フ點カラ見テモ、又外ノ商店トノ權衡ノ上カラ見テモ、當然之ヲ包含スベキモノト思フノデアリマスルガ、ドウデゴザイマスカ

答 只今ノ御質問ハ本法ノ適用ノ範圍ノ問題デゴザイマシテ、物品販賣業、理容業ハ入ツテ居ルケレドモ、飲食店、料理店ガ入ツテ居ラナイト云フ點ニ付テノ御尋デアツタノデアリマス、料理店、飲食店ニ於ケル使用人ノ保護ヲ圖ラナケレバナラナイ、又サウ云フ必要ガアルト云フコトハ、物品販賣業ニ於ケル使用人トケジメヲ付ケルコトハ困難ダラウト存ジテ居リマス、唯業體ノ性質上、料理店或ハ飲食店ニ付キマシテハ、物品販賣業ト同ジヤウニ閉店時刻ヲ以テ限ルコトガ非常ニ困難デハナイカ、是ハ理論上ト言フヨリモ寧ロ實際問題デアリマス、實際上ノ社會生活ニ於キマシテ、今日直ニ料理店、飲食店ヲ或時刻ヲ限リマシテ閉店セシメルト云フコトガ尠シマダ時期ガ早インデハナカラウカ、一面使用人ノ保護ト云フコトヲ表面カラ規定スル場

合ニ於テハ、閉店時刻ト云フ間接ナ方法ヨリモ、終業時間ヲ定メルト云フコトガ直接簡明ナ方法デアラウト存ズルノデアリマス、處デ只今ノ料理店、飲食店ニ直ニ終業時間ヲ定メルト云フコトモナカク、今直チニハムツカシイカト考ヘテ居リマス、結局只今ノ料理店、飲食店ニ付キマシテハ、何等カノ方法ヲ以テ此ノ物品販賣業或ハ理容業ニ於ケル使用人ト同ジヤウナ保護ヲスル必要ハアラウト存ジマシテ、別ニ研究ハ致シテ居リマスケレドモ、此ノ法律ノ中ニハ入レテ置カナカツタヤウナ次第デ、御趣旨ニハ我々モ同感シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

飲食店ト物品販賣業トヲ兼營スル場合ト本法ノ適用

問 第一條ノ「本法ハ市及主務大臣ノ指定スル町村（町村ニ準ズベキモノヲ含ム）ニ於テ物品販賣業又ハ理容業ヲ營ム店舗ニ之ヲ適用ス」ト云フコトニナツテ居リマスカラ、現在方々デ行ハレテ居ル、殊ニ繁華ナ所デ行ハレテ居リマス飲食ノ食料品販賣ヲシテ居ル店デアリマス、ソレデ段々ト同時ニ飲食ヲサセル所ガ出來テ來マス、銀座邊リニモ可ナリ澤山サウ云フ傾向ノ家ガアリマス、サウ云フノハ従業員ガ飲食店ノ所ニ働イテ居ルノト、店舗ニ働イテ居ルノト別々ノ待遇ニナル譯ニナリマスカ

答 只今御尋ノ此ノ飲食店ト食料品販賣業トヲ同ジ店デヤツテ居ル向キガ段々アルノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ飲食店ノ方ノ部分ハ本法案ノ適用ハゴザイマセヌシ、物品販賣ノ部分ニ付テハ此ノ商店法ノ適用ガアルノデアリマス、從ツテ只今御指摘ニナリマシタ従業員使用者ニ付キマシテモ、全然飲食ヲスル方デ働イテ居ル使用人ハ此ノ法律ノ適用ヲ受ケマセヌ、販賣ヲシテ居ル方ニ使用シテ居ルダケガ此ノ法律ノ適用ヲ受ケル、法律上斯ウ云フコトニナルト存ジマス

親子兄弟等デ經營スル場合ト本法ノ適用

問 親子兄弟デ經營スル所ノ店ニ於テハ、此ノ法律ハ適用ガアリマセヌカ、其ノ點ヲ伺ヒマス
 答 要スルニ今ノ親類ノ者ガ使用人ニナルカドウカト云フ問題ダト思ヒマス、其ノ點ハ從來工場法ナドニ付キマシテモ、親類カラ手傳ニ來テ居リマシテモ、賃銀ヲ貰ツテ同ジヤウニ働イテ居ル者ハ、職工トシテ扱フト云フ扱ヲシテ居リマスカラ、此ノ商店法ノ場合ニ於テモ同ジヤウナ風ニ解釋シテ運用シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リマス

使用人ナキ本條所定ノ店舗ト本法ノ適用

問 此ノ法律ハ使用人ノナイ店ニハ適用アリマセヌデスカ

答 使用人ノナイ店ニモ適用セラレル譯デス、使用人ノ關係カラ申シマスレバ、使用人ノナイ店ニ適用スル必要モナイノデアリマスルケレドモ、ヤハリ使用人ノナイ店ニ時間ヲ制限セヌト云フコトニナリマス、自ラ不當競争ガ行ハレマス、隣ノ方デハ十時限り店ヲ閉メテ居ル、所ガ使用人ガナイト云フ故ヲ以テ其ノ隣デハ十一時マデモ十二時マデモ仕事ヲシテ居ルト云フコトニナリマス、權衡ヲ失シマシテ自然此ノ法律ガ施行出來ナイコトニナリマス、法ノ適用ヲ受ケル店ガ非常ナ不利益ナ地位ニ立ツト云フコトニナリマス、自然此ノ法律ノ施行ニモ妨ゲニナルノデ、權衡上使用人ノナイ店ニモ適用スルト云フコトニ致シテ居リマス

問 同ジ店デ働ク子守トカ女中ハ適用ヲ受ケルノデスカ

答 營業ニ従事シテ居ル者ヲ標準トシテ立案シテ居ルノデアリマシテ、専ラ家庭ノ用事ヲシテ居ル者ニハ適用シナイ考デアリマス

通信販賣業ト本法ノ適用

問 物品販賣業トシテ規定サレタ中ニ、一寸分ラナイ所ガアリマスカラ御意見ヲ伺ヒタイ、ソレ

ハ通信販賣業ト云フモノガ、チヨイ／＼アル、是ハドウ云フ風ニ御取扱ニナツテ居ルカ、通信販賣業ト言ヒマス、店舗デハ商品ヲ賣ツテナイ、通信ダケデ、郵便ニ依ツテ或ハ小包ニ依ツテ販賣シテ居リ、店舗ヲ持ツテ居ナイカモ知レヌ、シモタ屋デヤツテ居ルカモ知レマセヌ

答 只今御尋ノ通信販賣ノ中デ店舗ヲ持ツテ居ラヌ者ハ、本法ノ適用ヲ受ケヌコトニナリマス出張販賣ト本法ノ適用

問 此ノ商店デナイ所デ出張販賣ヲスルトカ、或ハ其ノ顧客ノ邸宅ヘ行ツテ商ヒヨスルトカ、サウ云フ時ニハ此ノ法ノ制裁ヲ受ケルノデスカ

答 此ノ法律ハ第一條ニモ書イテゴザイマス通り、店舗ガ適用ノ對象ニナツテ居リマスカラ、出掛ケテ行ツテ賣ルヤウナ場合ハ含ンデ居リマセヌ

問 其ノ點ニ付テ篤ト伺ツテ置キタイノデスガ、全ク此ノ法ニ示シテアル通りデハツキリシテ居ルヤウニ思フノデアリマス、店舗ニ居ル使用人ガ客人ノ所ニ行ツテ注文ヲ承ルトカ、旅館ヘ行ツテ品物ヲ賣ツテ來ルトカ、ソレガ時刻ヲ過ギテシマフ場合モアルノデアリマス、店舗ヘ歸ツテ又其ノ品物ヲ調べテ客ノ所ヘ持ツテ行クト云フ場合モアルノデスガ、サウ云フ場合モ勿論店

舗デ直接ニ賣ラナイ時ニハ此ノ法ノ適用ヲ受ケナイコトニナルト解シテ宜シイノデアリマスカ

答 少シ御答ガ簡單デ或ハ意ヲ盡サナカツタカト存ジマスガ、出張シテ賣ル場合或ハ行商ヲスルヤウナ意味ノモノハ店舗ヲ持ツテ居ラナイカラト云フ意味デ、御答辯申上ゲタノデアリマス、只今ノ御質問ニ依リマス、店舗ガゴザイマシテ、其處テオ客サンノ注文ニ應ジテ品物ヲ調べルト云フコトニナリマス、矢張り其ノ店舗ト云フモノハアル譯ナシデアリマス、店舗ニ於ケル矢張り營業ノ延長ト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、法律上カラ申シマス、十時前ニ其ノ店ニオ客サンガ來ラレマシテ、品物ノ注文ヲサレマシテ、其ノ品物ヲ調べルト云フコトハ、法律上ハ十時過ギデモ禁ゼラレナイノデアリマスケレドモ、十時以後ニ物ノ注文ガアツテ御届ケスルト云フコトハ、店舗ガアル限りハ此ノ法律上ハイケナイ、斯ウ解釋シテ居リマス

問 今ノヤウニ十時以後ニ注文ノアツタ時ニハ無論斷ル譯ニナリマスガ、顧客ノ邸宅或ハ旅館等ヘ行ツテ、假ニ九時カラ行ツテ待タサレテ、十時以後ニナツテ注文ヲ受ケル場合モ事實ニ於テアルダラウト思ヒマス、客人ノコトデスカラ、サウ待タサレテヤ困ルト云ツテ、待ツテ居ル中ニ段々時ガ過ギテ、十時ヲ過ギテ、十時ヲ限りニ其ノ客人ニ斷ツテ、商賣ヲシナイデ引揚ゲテ

歸ルト云フ結果ニナルノデアリマセヌカ

答 只今ノ點ハ已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマス、十時迄ニ御注文ガナイト困ル、斯ウ云フ解釋ヲシテ居リマス

薬局ト本法ノ適用

問 薬局ハ此ノ法律ノ中ニ含まレマスカ、藥品營業並藥品取扱規則ニ依ツテ、藥劑師ガ醫師ノ處方箋ニ依ツテ藥品ノ調査スルノデアリマスガ、此ノ薬局ハ商店法ノ適用ヲ受ケルノデスカ

答 藥劑師ノ問題デアリマスガ、ドウ云フ形態デアリマスカ、其ノ營業ノヤリ方ニ依ルノデアリマシテ、唯藥劑ヲ物品トシテ販賣スルト云フダケデアリマス、此ノ商店法ノ適用ヲ受ケルト思ヒマス

問 藥品營業並藥品取扱規則ニ依リマシテ、醫師ノ處方箋ニ依ツテ病人ノ爲ニ藥品ヲ調査スルダケデアリマス、此ノ法律ノ適用ヲ受ケルノデスカ

答 只今ノ御話ノ通りデアレバ此ノ適用ハ受ケナイト思ヒマス

問 藥劑師ガ醫師ノ處方箋ニ依ツテ病人ノ爲ニ藥品ヲ調査シテ販賣授與スル所ノ薬局ト云フモノ

ハ、商店法ノ支配ヲ受ケマセヌデセウナト云フ質問ニ對シテ、政府委員カラ左様デアルト云フ御答辯ガアリマシタ、藥局ノ本來ノ性質上無論サウアルベキ筈デアリマスガ、此處デ斯ウ云フ誤解ガ若シアリマスルト一寸不審ガ起ルカト思ヒマスカラ、政府モ私モ同感デアルト云フコトヲ一ツ念ヲ押シテ置キタイ、ト申シマスノハ現在藥局ノ多數ハ御承知ノ通り全然藥局ダケガ獨立シテヤツテ居ルノデハナクテ、藥局ヲ經營シテ居ル藥劑師ノ大多數ハ、同時ニ化粧品デアルトカ小間物デアルトカ、サウ云フモノヲ同ジ店ノ中デ賣ツテ居リマス、此ノ商店法ニ隨ヘバ、是等ノ化粧品ヤ雜貨等ヲ賣ツテ居ル方ハ、是ハ藥劑師ガ藥劑師トシテヤツテ居ルノデナクテ、藥局トシテヤツテ居ルノデアリマセヌカラ、此方ハドウシテモ商店法ノ支配ヲ受ケナケレバナラス、唯藥局ハ商店法ノ支配ヲ受ケナイ、殊ニ藥局ハ藥劑師法ニ依ツテ、藥劑師ハ晝夜ヲ分タズ何時タリトモ患者ノ需メニ應ジテ藥品ノ調合販賣授與スル所ノ責任ヲ負ハサレテ居リマスカラ藥局ヲ閉メナケレバナラスト云フコトハアリマセヌ、ソレデアリマスカラ私ハ藥局ハ除カレテ居ルデセウト云フ質問ヲシ、又政府モ左様ナ御答辯ガアツタト思ヒマス、ソレヲ若シ藥局ナルガ故ニ同時ニ他ノ化粧品其ノ他ノ販賣ヲスル方モ店ヲ閉メナイデ、商店法ノ支配ヲ受ケナ

イト云フコトニナリマス、同ジ街ノ中ニ色々誤解ガ起ルト思ヒマスカラ、其ノ點ハ今申上ゲタ趣旨ト御同感デゴザイマセウナ

答 實ハ只今ノ問題ニ付キマシテ此ノ間簡單ニ御答シマシタノデ、或ハ誤解ガ起リハシナイカト云フコトヲ内々心配シテ居ツタノデアリマス、ガ丁度幸ヒ再ビ御質問ヲ願ヒマシタノデ、結論的ニ申シマス、只今土屋サンノ仰シヤツタ通りニ吾々モ心得テ居ルノデアリマス、藥局ガ入ルカ入ラナイカ、此ノ藥局ト云フ言葉ガ色々廣ク使ハレ、狭クモ使ハレテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、極ク狭イ意味ニ解釋シマシテ、藥劑師ガ需メニ應ジマシテ、醫者ノ處方箋ニ基イテ藥劑ヲ調合スルト云フ場所ダケデアルト云フ風ニ藥局ヲ考ヘマス、其ノ藥局ニハ此ノ商店法ノ適用ハナイ譯デアリマスガ、廣イ意味ニ其ノ藥局デ以テ賣藥モ賣ツテ居ル、化粧品モ賣ツテ居ル、小間物モ賣ツテ居ルト云フコトニ相成リマス、其ノ方面ハ商店法ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

第二條 店主ハ本法ニ定ムル閉店時刻以後顧客ニ對シ前條ノ營業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ閉店時刻前ヨリ

引續キ店舗ニ在ル顧客ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ
店主ハ閉店時刻以後ト雖モ負傷、疾病、災害其ノ他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シ其ノ必要ニ應ズ
ル物品ヲ販賣スルコトヲ得

本條ニ所謂閉店ノ意

問 第二條ノ「閉店」ト云フコトデアリマス、是ハ詰リ店ヲ閉メル、字ノ意味カラ言ヘバ、店ヲ閉ヂルト云フコトデアリマスガ、是ハ商賣ヲシナイト云フコトニ解釋シテ宜シイノデアリマセウカ、店ヲ強チ戸ヲ閉メテシマハナクテモ、商ヲシナケレバ、ソレデ宜イト云フ風ニ思ツテ宜イカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

答 理論的ニ申上ゲマスト、只今仰セノ通り、閉店ト云フノハ營業ヲ爲スコトヲ得ズト云フ意味ナノデアリマシテ、其ノ意味デ此ノ間ノ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ觀念的ナモノデアルト申上ゲマシタノハ、サウ云フ意味ナノデアリマス、併シナガラ是ハ法律ニハ書イテゴザイマセヌケレドモ、十時ニナリマシテモ同ジヤウニシテ居ツタナラバ、自ラオ客サンニ錯覺ヲ生ゼシムルコトニナルノデアリマスカラ、店ヲ閉チヨト具體的ナコトハ法律ニハ書イテアリマセヌガ、

何等カノ方法デ、モウ十時ニナリマシタカラ、今カラハ營業致シマセヌト云フコトヲ表示シテ貰フコトハ矢張り必要チヤナイカト考ヘテ居リマス、其ノ方法ニ付テハドシナ方法デモ宜イト思ヒマス

閉店後ノ商品ノ發送運搬ト本條ノ適用

問 此ノ閉店シタ以後ニ商品ヲ他處ヘ運搬スルトカ、發送スルトカ云フヤウナコトハ實際問題トシテアルノデアリマス、十時ノ閉店時間後ニ商品ヲ他ノ方面ヘ發送スルト云フヤウナコトハ此ノ法ノ適用ヲ受ケナイモノデアラウト思ヒマスガ、ソレニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

答 御尋ノ發送、運搬ト云フヤウナ問題ハ十時迄ニ商談ノ整ツタモノニ付テ、ソレニ關聯シタ仕事トシテ物品ヲ運搬シ、發送スルト云フコトハ差支ナイノデアリマス

問 尙今ノ發送運搬ノ場合デアリマスガ、餘程前カラ注文ヲ受取ツテ、其處ニ現在居ル客人デナクテ、前カラ注文ヲ受ケテアツテ、十時後ニ發送スル場合モアルト思ヒマスガ、是モ固ヨリ以前ニ注文ヲ受ケテ居ルモノトスレバ、發送運搬ニ差支ナイノデアリマスカ

答 差支アリマセヌ

閉店時刻ノ表示方法並之ガ取締

問 第二條ノ第一項デアリマス。閉店前後ト後トノ區別ヲ、ドウシテ御取締ニナル御積リデアルカ
或ハ閉店開業ト云フコトモアル、表ハ附メテ置イテ、内輪デハ營業スルト云フ人モナイト限リ
マセヌガ、此ノ點ハドウシテ取締リニナルカ御意見ヲ御尋致シタイト思ヒマス

答 此ノ法律ニ書イテ居リマス閉店時刻ハ、謂ハベ觀念的ノモノデアリマシテ、別段法律ニハ、
戸ヲ閉メテシマヘト云フヤウナコトハ書イテ居リマセヌ、十時以後物ヲ賣ツテハナラヌト云フ
思想ヲ謳ツタモノデアリマシテ、形ノ上デドウ云フコトヲシナケレバナラヌト云フコトハ、法
律ノ文字ニハ現レテ居リマセヌノデス、其ノ點ハ此ノ法律ガ施行ニナリマシタナラバ、實際
ノ指導ノ方法トシテ、電燈ヲ消シテ貰フトカ、或ハ幕ヲ張りマストカ、或ハ終業ト云フ札ヲ下
ゲマストカ、色々ナ方法ヲ指示シマシテ、ソレデヤツテ貰ヒタイト思ツテ居リマス、戸ヲ閉メ
ロト云フヤウナコトヲ申シマシテモ、夏ノ暑イ時ニハ、戸ヲ十時ニ閉メテシマヘト云フヤウナ
コトヲ命令スルコトガ、酷ナ場合モアルカモ知レマセヌ、サウ云フコトハ事情ヲ能ク斟酌シマ
シテ、併シモウ十時ニナツタカラ店ハ終ヒデスト云フコトヲ、現ハスヤウナ方法ヲ段々ニ指導

シテ行キタイ、斯ウ云フヤウナ考デ居リマス

問 只今ノ御説明デハ、十時マデノ閉店時刻トアリマスケレドモ、是ハ一種ノ空文ニ終リハシナ
イカ、何カヲ以テ取締ルカ或ハ罰則ヲ設ケナケレバ、唯幕ヲ掛ケロ、或ハドウトカセヨト云フ
ヤウナコト位デハ、折角此ノ法文ニ現ハサレテ居リナガラ、實際ニ於テ營業モヤルシ、又ヤリ
タイニ相違アリマセヌカラ、此ノ取締ヲモウ少シ何カ方法ヲ爲サルカ、或ハモツト進ンデ、期
節ニ依ツテ時間ノ延長ヲ特ニ御認メニナル御考ハナイカ、之ヲモウ少シ御伺致シタイ

答 條文全體ヲ御覽願ヘレバ、自ラ御諒解ガ得ラレルノデナイカト思ヒマス、例外モ設ケテ居リ
マスシ、十時ト云フノハ大體ノ標準デアルト存ジマスガ、例外ヲ設ケテ十一時ト云フノモアリ
マスシ、ソレカラ一定ノ期間ヲ限ツテ例外ヲ設ケテ居ル條文モアリマスシ、ソレカラ之ヲ厲行
セシムル爲ニ罰則モ設ケテ居ルノデアリマスルカラ、只今御尋ノヤウナ趣旨ハ、此ノ法律ニ依
ツテ目的ヲ達成シ得ルト思フノデアリマス

本條第二項ニ所謂「緊急ノ事由」ノ意

問 第二條ニアル「其ノ他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シ其ノ必要ニ應ズル物品ヲ販賣スルコ

トヲ得」ト云フ事項ニ對シ、其ノ實例ヲ舉ゲ、ドウ云フ時ニヤルカ、御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

答 第二條ノ「緊急ノ事由」ノ御尋デアリマスガ、是ハ此ノ負傷トカ、疾病トカ、災害ト云フヤウナモノト大體同ジ程度ノ、非常ニ緊急ナ事ガ起ツタト云フノデアリマシテ、大體此ノ負傷、疾病、災害ト云フヤウナコトデ實ハ賄ヘルヤウニ思ヒマスガ、或ハ一ツ二ツノ例ヲ申シマスレバ、停電ヲシタ、停電モ災害カモ知レマセヌガ、停電ヲシタ場合ニ蠟燭ガ要ル、或ハ電球ガ要ルト云フヤウナ事モ一ツノ例デアリマセウ、或ハ又自働車ガ途中デ「ガソリン」ガ切レタ、ソレガ豫期セザル爲ニサウ云フ事ガ起ツタト云フヤウナ場合ニハ、ヤハリ只今ノ緊急ノ事由ト云フ中ニ入ルト思ヒマス

第三條 閉店時刻ハ午後十時トス

行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地域ヲ限リ前項ノ時刻ヲ午後十一時迄繰延ブルコトヲ得

使用人ヲ使用セザル店舗モ一律ニ閉店時刻ヲ午後十時ト定メタル理由

問 此ノ閉店時刻デアリマスガ本案ハ十時トナツテ居ル、是ハ日ノ短イ時ト長イ時ヲ通ジテノ十時ト私ハ解釋致シマスガ、ドウ云フ方針デ此ノ十時ト云フ時間ヲ御決定サレタノデアリマスカ

答 閉店時刻ヲ十時トカ十一時トカ決メマスト、使用人ヲ使ツテ居ル所デハ十時ニ閉メラレル、使用人ヲ使ツテ居リマセヌ所デハ何時マデ店ヲ開イテ居ツテモ宜シイト云フコトデハ、實際法規ノ圓滿ナル運用ハ出來マセヌノデ、實ハ勞働者或ハ使用人保護ト云フ立場カラハ幾分離レルカモ知レマセヌケレドモ、御互ノ不當ナル競争ヲナクスルト云フ意味合デ、使用人ヲ使ツテ居リマセウトモ居リマセヌデモ、一律ニ閉店時刻ノ適用ヲスル、斯ウ云フ風ニ致シタ次第デアリマス、ソレカラ午後十時ハドウ云フ經過デ決ツタカト云フヤウナ御尋デアツタノデアリマス、厚生省ノ前身デアリマス内務省ノ社會局ノ當時ニ、昭和八年頃ニ一應ノ案ガ出來マシテ、ソレヲ世間ニ發表シテ居リマス、ソレハ夏ハ十時、冬ハ九時ト云フヤウナ案ガ發表サレテ居リマス其ノ當時ノ案ハ單ニソレハ社會局ノ案ニ止マツテ、議會ニ御出シスル程度ニ至ラナカッタノデアリマスガ、其ノ後昭和十年ニ至リマシテ實ハ商工會議所其ノ他ノ方面ニ、閉店時刻ヲ決メルナラバ何時ガ宜シイカト云フ諮問ヲ社會局ノ方カラ出シタノデアリマス、所ガ其ノ回答ノ大多

數ハ午後十時ガ宜シイト云フ回答ヲ得テ得リマス、サウ云フ關係モアリマシテ、實ハ一番最初ノ原案ハ夏ト冬トノ區別ヲシマシテ、夏ハ十時、冬ハ九時ニ閉メルト云フコトデアリマシタガ、只今申上グマシタヤウナ商工會議所其ノ他ノ方ノ意見モ參酌シマシテ、一律ニ午後十時、斯ウ云フ風ニ決定シタ次第デアリマス

本條第二項ノ適用ヲ受クベキ地域

問 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地域ヲ限リ前項ノ時刻ヲ午後十一時迄繰延ブルコトヲ得ト云フ便法モアリマスガ、此ノ便法ハドウ云フ地方ニ之ヲ適用サレルノデアリマスカ

答 第三條ノ第二項ニ依ツテ午後十一時迄繰延ベルコトノ出來マスル地域ハ、私共考ヘテ居リマスルノハ、盛り場ト申シマスカ、夜間特ニ賑カナ地域ヲ特ニ限リマシテ、其ノ地域ニ付テハ午後十一時マデ繰延ベテ宜シイ、「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲテアリマス省令ト言ヒマスガ、命令案ニ書イテゴザイマス通り、關係地域ノ商工會議所又ハ之ニ代ルベキ團體ノ意見ヲ聽イタ上デ此ノ地域ヲ地方長官ガ決定スルノデアリマスケレドモ、私共ト政シマシテハ成ベク此ノ地域ハ嚴格ニ之ヲヤツテ行キタイ、現在餘程遅クマデ店ヲ開

イテ居リマスヤウナ地域ニ付キマシテ、特ニ嚴重ナル立場デ之ヲ運用シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

問 只今ノ御答デハ能ク分リマセヌガ、譬ヘテ申シマスレバ、東京トカ大阪トカ云フ地域ニ對シテハ、ドウ云フ所ヲ此ノ十一時マデ制限スルノデアリマスカ、ソレニ付テ御分リノ範圍ヲ御答辯願ヒタイノデアリマス

答 東京ニ付キマシテハ例ヘバ淺草ノ如キモノデアリマス、大阪デ申シマス道頓堀ト申シマスカ、サウ云フ地域ヲ第三條ノ第二項デ考ヘテ居ル譯デゴザイマシテ、出來ルダケ少クシタイ之ヲ廣ク致シマスト、一般ニ十時ニ閉店時刻ヲ決メマシタ趣旨ガ無クナリマスルシ、元々是ハ例外的ノ處置デアリマスカラ、之ニ依ツテ指定スル地域ノ數ハ出來得ルダケ少クシタイ、又一面ニ於テハ一般ノ社會生活ニ著シイ不便ノナイヤウニ、サウ云フ點モ能ク考ヘマスケレドモ、理想トシテハ出來得ル限リ數ヲ少クシテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

問 只今ノ例ハ東京ニ於テハ淺草、大阪ニ於テハ道頓堀ト云フコトデアリマスガ、例ヘテ申シマスト銀座デアルトカ又ハ新宿デアルトカ、或ハ澁谷デアルトカ、其ノ他上野トカ云フヤウナ地

域マデモ除外例ヲ認メルノデアリマセウカ

答 誰が見テモ是ハ特別ノ地域トシテ繰延ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ極ク少イ數ニ限リタ
イト思ツテ居リマスカラ、此處ハドウダ、アレハドウカト仰シヤラレマス、實ハ大變困ルノ
デアリマス、只今ノ點ハ、私ノ方デ現在此處マデ認メル、是以上ハ認メナイト云フ、具體的ノ
計畫ハ現在持ツテ居リマセヌ、是ハ此ノ法律ガ出來マシタ曉ニ於キマシテ、能ク地方廳ト連絡
ヲ執リマシテ、地方廳ニ於テ此ノ指定ヲスル場合ニ於テハ、今申上ゲタヤウナ意味合ニ於テ、
關係ノ商工會議所、其ノ他ノ團體トハ十分打合セヲ致シマスケレドモ、出來得ル限リ此ノ數ハ
少クシテ行ク、斯ウ云フ方針デヤラウト思ツテ居リマス

本法ノ適用ヲ受クル商店ト之ヲ受ケザル商店トヲ兼營スル場合ト閉店ノ時刻

問 第三條ノ閉店時間ノ點ニ關シテデアリマスガ、御承知ノ通り銀座方面ニ、例ヘバ「オリンピ
ック」ト云フヤウナ店ガ澤山アリマスガ、今喫茶店ト其ノ他ニ洋菓子トカ或ハ水菓子ナドヲ賣
ツテ居ル、一方ニ於キマシテハ本法ノ取締ヲ受ケマスシ、一方ニ於テハ本法ノ適用ヲ受ケナイ、
營業ヲ共ニヤツテ居ルノデアリマスガ、是カ實際ノ御取扱ハドウ云フ風ニナリマスカ、別々ニ

取締ル御意思デアリマスカ、或ハ一方ハ喫茶店ヲヤツテ居ルノデアルカラ、喫茶店ノ方ハ時間
ノ制限無シ、品物ノ方ハ之ニ準ジテ、例ヘバオ客サンガオ茶ヲ飲ミニ來テ、サウシテ其ノ店ノ
出ス品物ヲ土産ニ持ツテ歸ラウト云フ場合ニ、此ノ土産ノ方ハ時間外デアルカラ賣リマセヌ、
オ飲ミニナル方ハ無制限デスト云フヤウナコトニナルノデアリマスカ

答 此ノ法律ノ立前ハ、別々ニ取締ル方針デ居リマス、販賣ノ方ハ本法ヲ適用スル、ソレカラ飲
食店ハ適用シナイ、斯ウ云フ方針デ居リマスカラ、構ヘガ一ツデアリマシテモ、其ノ内部デ以
テ營業種目ガ二ツニ分レテ居レバ、一方ハ取締ヲ受ケテ、一方ハ取締ヲ受ケナイ、斯ウ云フコ
トニナリマスガ、其ノ方面ノ使用人ハ、コチラノ使用人ト兩方ニ使用人ヲ分チテ適用スル方針
デゴザイマス

閉店後ニ於ケル取引以外ノ執務

問 第三條ノ閉店後店内ニ於ケル執務ハ、ドウ云フ關係ニナツテ居リマスカ、閉店後使用人ガ店
内ニ於テ執務スル、例ヘバ其ノ日ノ片付ヲスル、アトノ錢勘定ヲヤラサレル場合ナドノ一切ノ
執務ヲ、許サヌコトニナリマスカ

答 ソレハ顧客相手デナイ仕事ハ、構ハスト云フコトデ立案シテ居ル積リデアリマス、顧客トノ取引ヲ標準トシテ規定シテ居リマスノデ、内輪デ下準備ヲスルトカ、跡始末ヲスルト云フコトハ、本法ノ適用外デアリマス

閉店時刻ノ法意

問 第三條ノ閉店時刻デアリマス、度々是ハ論ゼラレテ居リマスガ、午後十時トスト云フノハ義務デアリマスカ唯單ニ權利ダケデスカ、義務トスルト、若シ十時以前ニ閉店シタ場合ニ、義務不履行ニ依リ種々ナル問題ヲ惹起セザルヲ得ナイト思ヒマスガ、ソコヲ一寸御伺ヒシタイト思ヒマス

答 義務トカ權利トカ仰シヤルノガ一寸分リ兼ネマスガ、十時ヨリ早ク閉店シテモ構ハナイノカト云フ御尋ネデスカ

問 其ノ意味デス

答 勿論其ノ意味デ立案致シテ居リマス

問 十時以前ニ閉店シテモ差支ナイト云フ意味ニナリマスネ

答 閉店ノ早イト云フコトハ差支ナイノデ、遅クトモ十時ト云フ意味デス

閉店時間ヲ定メ閉店時間ヲ規定セザル理由

問 一日ノ労働時間ニ付テモ規定ガナイト云フコトニナリマスレバ、法律トシテ法律ノ形ヲ爲スカドウカ、私ハ立法ニ經驗ガナイカラ分リマセヌケレドモ、茲ニ御配付ニナリマシタ參考資料ニ付テ、都市商店街開店及ビ閉店時刻調ト云フノヲ見マシテモ、開店ノ時刻五時ト云フノガアル、假ニ五時ニ開クト致シマスルナラバ、午後十時デアリマスルカラ、其ノ労働時間ガ頗ル過重ニナツテシマフ、五時半ト云フノガ三ツアリマス、六時ト云フノガ七十六アリマス、六時半ト云フノガ三十四、一番多イノハ七時ト云フノデアリマスルケレドモ、七時ガ百八アルノデゴザイマス、假ニ七時ト致シマシテモ十時ニ終フト致シマスレバ、十三時間デス、十三時間ト云フ労働時間ヲ決メタ労働立法ガ世界ニ比例ガアリマセウカ

答 是ハ労働時間ヲ決メタ法律デヤアリマセヌ、是ハ閉店時間ヲ決メタノデアツテ、詰リ間接ニ勞務者使用人ヲ保護スルト云フ法律デアリマス、即チ直接ニ勞務者或ハ使用人ヲ斯ウシヨウト云フ、労働時間ヲ決メル法律ハ是ハ出來ルカモ知レマセヌガ、唯此ノ店ヲ早ク閉メサシタナラ

其ノ主人ハソレニ依ツテ其ノ従業者ニ休養ヲ與ヘルコトガ出來ルダラウト云フ間接ノ規定デアリマス、ソレカラ五時カラ六時、七時ト云フ標準ノ取りヤウデアリマスガ、即チ牛乳屋ナドハ朝寢ヲシテ居ツテハ商賣ニナリマセヌ、其ノ代リ夕方ニナレバ早ク店ヲ閉メテシマフノデスカラ、其ノ千態萬様ノ職業ニ一々開店時間ヲ規定スルコトハ常識上又立法技術上出來ナイノデスカラ、略々弊害ノアル點ダケノ終ヒノ最低ノ所ヲ規定シテ置イテ、稍々其ノ目的ヲ達スレバ宜カラウト云フノデアツテ、是ハ勞働時間ヲ規定シタモノヂヤアリマセヌカラ、ドウゾ其ノ點ダケハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

問 始メハ關係ナイノデアリマスカラ、夜八十時ニサレテモ、朝二時間早く起サレルト非常ナ迷惑ヲ感ズルト云フヤウナコトニモナルノデアリマシテ、ヤハリ使用人ノ使用時間ノ限度ト云フモノハ、五十人以上トカ云フヤウナ特殊ノ問題デナクシテ全體ニ相當廣イ範圍デ宜イノデスケレドモ、時間ヲ決メテ置ク必要ガアリハシマセヌカ、立案ノ御精神ヲ伺ヒタイト思ヒマス

答 閉店時間ダケヲ限定致シマシテ、開店時間ヲ限定致シテ居リマセヌノハ、觀察ノ仕方ニ依リマシテハ、不徹底ノヤウニモ考ヘラレマスガ、只今椎尾サンガ言ハレタヤウニ、閉店時間ヲ二

時間早くシテモ開店時間ヲ二時間早くスレバ同ジコトニナルデハナイカト云フヤウナコトハ、御議論トシテハサウ云フコトモ考ヘラレマスガ、併シ實際問題トシテハ、サウ云フコトニナラヌト思ヒマス、ト申シマスノハ、顧客ガ無いノニ開店スルト云フコトハ無駄ニナルノデアリマス、結局商店ト云フモノハ顧客ヲ對象トシテ居ルノデアリマスカラ、サウ朝早く無暗ニ戸ヲ明ケテ見タ所ガ、商賣ノ出來ルモノデハアリマセヌ、サウ云フコトガ一方ニ考ヘラレルノト、イマ一ツハ營業ニ依リマシテ、例ヘバ青物市場デアルトカ、魚市場デアルトカ、斯ウ云フ營業ニナリマスト、是ハドウシテモ開店時間ハ制限出來ヌコトニナリマス、サウ云フ特殊ナ營業ガアルト云フコトハ、兩方ヲ考慮ノ中ニ置キマシテ、開店時間ヲ制限シナカツタノデゴザイマス

第四條 業務ノ繁忙ナル時期ニ付行政官廳必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限り一年ヲ通ジ六十日以内前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得
前項ノ外行政官廳臨時必要アリト認ムルトキハ期間又ハ地域ヲ限り前二條ノ規定ヲ適用セズ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得

本條ニ一年ヲ通シ「六十日以内」ト定メタル理由

問 第四條ニ「六十日以内」トアリマスガ此ノ點ニ付テモ少シ御説明方願ヒタイ

答 第四條ニ「六十日以内」トゴザイマス、是ハ私共ノ考トシマシテハ、中元ガ十五日、ソレカラ年末ハ十二月一杯トシマシテ、三十一日アリマス、アト十四五日残ツテ居リマスガ、是ハ其ノ地方々々ノ祭日ナリ、其ノ他ノ場合ニ充テルヤウナコトニシマシテ、大體六十日アリマスレバ一年ノ内デ特ニ忙シイ時期ガ賄ヘル、斯ウ云フヤウナ意味デ六十日以内ト決メタヤウナ譯デアリマス

問 是ハ此ノ法文ニ依リマスト、ヤハリ地域ヲ限ツテ居リマスガ、其ノ地方廳ニ於テ或ル部分ニ對シテ、年末トカ、其ノ他ノ場合ニ於テ之ヲ許スノデアリマセウカ、ソレニ付テ御聞キシタイ

答 只今申上ゲマシタ中元トカ、或ハ年末ニ付キマシテハ、其ノ都市全般デ宜シイカト思ヒマス併シ其ノ外ニ地域ニ依ツテ、或ハオ祭りノヤウナ場合ニハ、又別ノオ祭ニ關係ノアル區域ガアラウト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ或ル都市ノ中ノ一部分ノ地區ヲ限ツテ、何日カラ何日マデ第四條ニ依ツテ繰延ベルト云フヤウナコトニナラウト思ヒマスガ、中元或ハ年末ニ付テハ、

全市一圓ニヤルト云フコトニナルト存ジマス

問 ソレハ時々地方官廳ガ之ヲ公示スルノデスカ、又ハ既ニ月ノ是レ是レハ許スト初メカラ決メル意向デアリマセウカ

答 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ、大體豫想ガ付クノデアリマスカラ、告示ヲ以テヤリマスレバソレガズツト行ハレテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

問 若シモ臨時ノ大祭トカ、其ノ他ノ催シナドガ發生シタ場合ニ於テ、其ノ時ハ此ノ六十日以内ナラバ勿論許サレマスガ、是ガ六十日以上デアツタ場合ニ於テハ許サレナイノデアリマセウカ

答 只今御尋ノ點ハ第四條ノ第二項ニ依リマシテ、臨時ニ豫期セザルコトガ起リマシテ非常ニ忙シイト云フコトデアリマスレバ、六十日ノ外ニ行政官廳ガ同ジヤウナ繰延ガ出來ル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス

本條第一項「前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得」ノ意竝ニ第二項「前二條ノ規定ヲ適用セズ」ノ意

問 第四條デアリマスガ、一年ヲ通ジテ六十日以内ト云フコトガアリマス、尙ホソレニ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコトヲ得ルト云フノデアリマスガ、此ノ繰延ブルト云フコトニ付キマシテハ

ドノ位繰延べルノデアリマスカ、又適用セズト云フノハ全然適用シナイノデアリマスカ

答 第四條ニ付テ、前二條ノ規定ヲ適用シナイ、又時間ヲ繰延べルト云フコトニナツテ居ルガ、一體是ハドウ云フ標準カト云フ御尋デアリマシタ、是ハ條文ニモ現レテ居リマストリニ、業務ガ繁忙ナル時期ニ付テ行政官廳ガ必要ト認メタ時ニ、期間ト地域トヲ限リマシテ規定ヲ適用シナイ場合ト、時間ヲ繰延べル場合トガアルノデアリマス、是ハ總テ行政官廳ニ一任シテ居リマスノデ、必要ノ程度ノ認定竝ニ其ノ認定ニ基イタ適用不適用、又繰延時間ノ延長ノ程度、是等ハ總テ行政官廳ニ一任シテ居ル譯デアリマス、即チ行政官廳ガ必要ノ程度ニ應ジテ本法ヲ適用スルノデアリマシテ、法文自體トシテハ何時間延長スルトカ、又如何ナル場合ニ適用シナイカト云フコトハ、是レ以上何モノモ要求シテ居ラヌ譯デアリマス

行政官廳ノ繰延ブルコトヲ得ル時刻ノ限度

問 第四條デアリマシタカ、地方官廳ニ委任スルト云フコトデアリマスガ、是ハ總テ委任ナサルノデアリマスカドウデスカ、時間等ハドレ位……延長スルトカシナイトカ云フノデハナイ、私ノ御尋シタノハ最高限度何時間ノ延長ガ出來ルカト云フコトヲ御伺致シタノデアリマスガ、

其ノ時間ニ付テモ其ノ程度ハ制限ナク、無限ニ地方官廳ガ委任ヲ受ケルノデアリマスカ

答 之ニ付テハ制限ヲ設ケヌト云フコトハ結局十二時迄ト云フコトニナル譯デアリマス、適用セヌ場合ハ問題ハナイノデアリマスガ、時刻ヲ繰延べルト云フコトニナリマスト結局十二時迄ハ繰延べラレルコトニナリマス

第五條 店主ハ使用人ニ毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與フベシ

本條二月一回ノ休日ト規定シタル根據

問 第五條ニ於テ少クトモ月一回トナツテ居ルノデアリマスカラ、是レ以上與ヘルコトハ敢テ差支ナイ問題デアリマスガ、店員保護ノ上カラ申シマスト、少クトモ二回ト云フコトニ決メルコトガ當然デナカラウカト思ヒマス、如何ニ個人的小營業者ト致シマシテモ、使用人ニ與ヘル休養ハ月二回以上ヲ與ヘナケレバ、實際保護ノ上カラ立法サレタ意思ニ合ハナイノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ一回ト決メラレマシタノハ何カ理由ガアリマスルカ

答 本法ノ立案ノ趣旨カラ申シマスト、一日ヨリ二日ノ方ヲ希望スルノデアリマス、又現在民

問ニ於テ自治的ニ自發的ニ二日ト云フ決リノ所ガ随分アリマス、理髮業ノ如キハ殆ド全國ニ亙
ツテ月二日ノ公休日ヲ設ケテ居ルヤウデアリマス、其ノ外商店ノ種類ニ依リマシテハ、二日位
ノ公休日ヲ認メテ居ルノモ段々アルヤウデアリマスケレドモ、併ナガラ法律ハ全國總テノ業者
ニ適用サレト云フコトニナリマスルノデ、總テノ營業ニ亙ツテ業態ヲ調べテ見マスルト、隨
分區々雜多ニ亙ツテ居リマスルノデ、先ヅ全國ニ厲行セシムルト云フ立前カラ言ヘバ、一回以
上ヲ直チニ註文スルト云フコトハ無理デハアルマイカ、斯様ニ考ヘテ實ハ此ノ規定ヲ設ケタ譯
デアリマス

病氣休日ノ場合ト本條ノ休日

問 使用人デ、病氣等デ假ニ一月ノ中デ半月位休ンダ其ノ後ニ於テ、使用人ガ長ラク休ンデ申譯
ナイカラ、今月ハ病氣デ休ンデ休日ヲ澤山取ツテ居ルノダカラ働キマス、明日ノ休ミモ別段ニ
休ミヲ貰ハナクトモ宜イト云フ場合モ、是ハ實際問題トシテアルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ
ハ病氣休日以外ニ又別ニ一回ノ休日ヲ與ヘルト云フ意味ニナリマスカ、如何デアリマスカ

答 一月ノ中ニ病氣デ休ンダノガアリマスレバ、ソレハ振替ヘテモ宜イダラウト思ヒマス、併シ

今月大分休ンダカラ、來月働カスト云フコトハ、ソレハイケナイ、斯ウ云フコトデアリマス

問 サウスルト、其ノ月ノ中デアレバ、病氣ナラ病氣、他ノ原因……家庭ノ都合デ休ンデモ、病
氣デ休ンデモ、ソレハ休日ト解釋シテ宜シイト云フコトデスネ

答 宜シウゴザイマス

第六條 左ニ掲グル店舗ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ第二條及第三條ノ規定ハ之ヲ適
用セズ

- 一 興行場、觀覽場、遊技場其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル店舗
 - 二 展覽會場、共進會場、博覽會場其ノ他之ニ類スル場所ニ於ケル店舗
 - 三 停車場又ハ船舶發着所ニ於ケル店舗
 - 四 其ノ他主務大臣ノ指定スル場所ニ於ケル店舗
- 前項第二號ノ店舗ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

本條ニ所謂停車場又ハ船舶發着所ニ於ケル店舗ノ意

問 第六條ノ中ニ「停車場又ハ船舶發着所ニ於ケル店舗」トアリマスガ、例ヘバ地方ノ市ナドデ
申シマスト、殆ド停車場構内ト同ジャウナ場所ニ色々ナ販賣業者ガアリマスガ、ソレ等ニ付テ

ハドウ御考デアリマスカ

答 停車場又ハ船舶發着所ニ附イテ居リマス店舗ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウナ心配ガアルノデアリマス、何處マデガ構内デ、何處カラ先ガ構外デアルカ分ラナイヤウナ所モアリマス、ソコデ其ノ點ハ十分ニ調査ヲシマシテ、是ハ一々申請ヲ取ツテ許可ヲスル積リデアリマス、停車場ト書イテゴザイマスガ、總テノ停車場ニ許ス考ハ實ハナイノデアリマス、東京デ申シマスト電車ダケガ停ルヤウナ停車場デハ許可シナイ、旅客列車ガ停ルヤウナ大キナ停車場ダケニ限ルヤウナ方針デ行キタイト考ヘテ居リマス

本條所謂主務大臣ノ指定スル場所ノ意

問 第六條ノ第四項ニ掲ゲマスモノデ「主務大臣ノ指定スル場所」ト言ハレル場所ハ、如何ナル場所ヲ指定スル御意思デアリマスカ

答 第六條ノ第一項第四號ノ「主務大臣ノ指定スル場所」ト云フ意味ノ御質問デアリマシタ、現在考ヘテ居リマスノハ、是モ實際ヲ調べテ見マセスト、果シテ必ズ指定スルカドウカ分リマセスガ、魚ノ卸賣市場ガアリマス、其ノ外ニ漁業組合等デ魚ノ共同販賣ヲヤツテ居ルヤウナ所

モアリマス、斯ウ云フ場所デハ時間ノ如何ニ拘ラズ、魚ノ水揚ガアリマシタ場合ニ、直グニ魚ヲ賣ルト云フコトニナリマセスト困リマスノデ、サウ云フ場所デ魚ヲ賣ル店舗ニ付テハ、此ノ主務大臣ノ指定ニ依ツテ時間外ト雖モ——時間外ト言フト語弊ガアリマスガ、閉店時間ヲ適用シナイコトニシナケレバナラヌ場所ガアルト存ジマス、尙ホ將來ニ付キマシテハ飛行機ノ發着所トカ色々新シイ事態ガ發生スルカモ知レマセヌ、現在吾々ノ豫想シテ居リマスノハ、魚ノ卸賣市場或ハ共同販賣所、斯様ナモノヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

第七條 常時五十人以上ノ使用人ヲ使用スル店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未滿ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十一時間ヲ超エテ就業セシムルコトヲ得ズ

前項ノ店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未滿ノ者又ハ女子ノ就業時間ガ六時間ヲ超ニルトキハ少クトモ三十分、十時間ヲ超ユルトキハ少クトモ一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ之ニ與フベシ
業務ノ繁忙ナル時期ニ於テハ店主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ一年ヲ通ジ六十日以内第一項ノ就業時間ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ外臨時必要アル場合ニ於テハ店主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ第一項ノ就業時間ヲ延長スルコトヲ得

十六歳未満ノ者ニ對スル休養ト労働時間ノ制限

問 店員ノ年齢ノ下ニ付テノ制限ガアリマスガ、之ニ依リマスト、十六歳未満ノ者ニ對シテハ休養若クハ働ク時間ニ於テ制限ガアリマスガ、單ニ十六歳未満トアツテ年齢ノ制限ガアリマセヌガ、此ノ點ハドウナリマスカ

答 一般ノ商店ニ付テ別段ノ規定ガゴザイマセヌノデ、七條八條ニ於キマシテ五十人以上ヲ使ツテ居リマス大商店ニ於キマシテハ、其ノ店ニ働イテ居リマス女竝ニ十六歳未満ノ者ニ付テ特別ナル保護ノ規定ヲ設ケテ居リマスルガ、其ノ他ニハ別段年齢ノ制限ノ規定ハゴザイマセヌ

本條第二項ニ「一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ之ヲ與フベシ」ノ意

問 第七條第二項ノ「一時間ノ休憩時間ヲ就業時間中ニ於テ之ヲ與フベシ」斯ウアリマスガ、就業時間中ニ與ヘラレル以外ニ、食事時間ハ之ニドウ云フ風ニ御計算ニナツテ居ルカ、大概食事時間ハ一時間位ハ何處モアルト思ヒマスガ、ソレヲ或ル方面デ一時間ノ休憩時間ヲ就業中ニ與ヘルカラ、晝飯ノ休憩ハ三十分ニスル、二十分ニスルトカシテ短縮ヲスルカモ知レナイケレドモ、食事時間ノ半時間或ハ一時間ト云フモノハ、此ノ點ニ含マツテ居ルカ、其ノ點ヲ御示シ願

ヒタイ

答 休憩時間ノ中ニハ食事時間モ入ツテ居リマス、食事ノ時間ヲ含メテ一時間ノ休憩時間ト云フノデアリマス、詰リ就業時間ニ對スル一時間ノ休憩時間デアリマスルカラ、左様御承知願ヒタイノデアリマス

本條第四項ニ所謂行政官廳ノ意

問 第七條ノ第四項デアリマスガ、之ニハ行政官廳ノ許可ヲ得ルトアリマスガ、此ノ行政官廳ト云フノハ、地方ニ於テハ縣廳ヲ御指シニナツテ居ルノデスカ

答 第七條第四項ノ行政官廳ハ地方長官ノ意味デゴザイマス

工場ト商店トカ同一構内ニ在ル場合使用人ノ計數並本條ノ休憩時間ノ計算

問 同一ノ構内ニ工場ガアリ、商店ノアル場合往々アルト思フノデスカ、伺フ迄モナイト思ヒマスガ、工場ト商店トハ別ニ此ノ使用人ノ計數ヲ見テ宜シイダラウト思フノデアリマス、ソレニ付テ御答辯ヲ伺ヒタイシ、ソレカラ其ノ次ニ「六時間ヲ超ユルトキハ三十分、十時間ヲ超ユルトキハ少クトモ一時間」是ハ十時間ヲ超エタ時ハ通算シテ一時間デアリマスカ、三十分休マ

セタ上ニ、又一時間ヲ別ニヤルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

答 第一ノ御質問ハ御述ニナリマシタ通りデアリマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ、十時間以上続
キマシタ場合ニハ通計一時間、斯ウ云フ譯デアリマス

問 サウスト、詰リ三十分、又更ニ三十分ト云フ意味デスカ

答 マアサウ云フ風ニ讀ンデ戴イテモ同ジ趣旨デアリマス

第八條 前條第一項ノ店舗ニ在リテハ店主ハ十六歳未満ノ者及女子ニ毎月少クトモ二回ノ休日ヲ與フベ
シ

業務ノ繁忙ナル時期其ノ他臨時必要アル場合ニ於テ店主行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ休日
ヲ一回ト爲スコトヲ得

第九條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ店舗又ハ其ノ附屬建設物ニ於ケル使用人ノ危害ノ防止又ハ衛
生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得

本條ニ「危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得」ノ意

問 此處ニ「危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得」是ハ必要ナル事
項ノ中ニ、女子従業員ニハ三人ニ付テ一人ノ椅子又ハ腰掛ヲ備ヘルト云フ位ノ程度ノモノデス
カ、ソレトモ外ニ色々ナ事項ヲ御命ジニナルト云フコトデスカ、例ヘバ榮養ノ問題ナドデ、店
員ノ食糧ガ如何ニモ貧弱デアルト云フコトガ、商店員ノ榮養ヲ低下サセル可ナリナ原因ニナツ
テ居リマスカラ、サウ云フヤウナ所マデモ立入ツテ何か事項ヲ命ゼラレルト云フヤウナコトガ
アリマスカ

答 先ヅ只今ノ所ハ、女ヲ澤山使ツテ居リマス所デハ腰掛ケル椅子ヲ與ヘロト云フコトガ具體的
ノ事項ノ一ツデアリマス、モウ一ツハ地方長官ガ特ニ必要アリト認メタ場合、是ハ現在ノ所デ
別段豫想シテ居ルコトハ無いノデアリマシテ、災害ガ起ツタトカ、其ノ他ノ場合ニ於テ具體的
ニ其ノ時ノ必要ニ應ジテ色々ナ命令ガ出來ルト云フ根據ヲ與ヘル意味デ、條項ヲ二ツシカ書カ
ナイ豫定ナンデアリマス、更ニ只今ノ衛生ニ付テ榮養ノ問題迄モ含ムノカト云フ御尋デアリマ
シタガ、此處ニ書イテアリマス危害ノ防止或ハ衛生ト申シマスノハ、消極的ナ意味ナノデアリ
マシテ、積極的ニ榮養ノ増進ヲ圖リ、積極的ニ體位ノ向上ヲ圖ルト云フヤウナ、積極的ノモノ
ヲ命令致ス考ハナイノデアリマス、サウ云フ事項ガ決シテ必要デナイト云フ意味デハナイノデ

アリマシテ、第九條ニ依ツテ、命令トシテハ強制ハ致シマセヌケレドモ、命令以外ノ助長的ナ
或ハ指導的ナ立場デサウ云フ方面ハヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

第十條 天災事變ノ爲又ハ事變ノ虞アル爲必要アル場合ニ於テハ主務大臣ハ期間又ハ地域ヲ限リ本法ノ
全部又ハ一部ヲ適用セザルコトヲ得

第十一條 行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ店舗又ハ其ノ附屬建設物ニ臨檢セシ
ムルコトヲ得但シ使用人以外ノ者ノ居室ハ此ノ限ニ在ラズ
當該官吏前項ノ規定ニ依リ臨檢スル場合ハ其ノ證票ヲ携帯スベシ

本條第二項ノ所謂「當該官吏」ノ意

問 第十一條ノ第二項ノ「當該官吏前項ノ規定ニ依リ臨檢スル場合」云々ト云フノデアリマスガ、
是ハドウ云フ官吏デアリマセウカ

答 是ハ原則トシテ警察ヲ使ハナイノデアリマス、當該官吏ト云フノハ、工場課ノ職員ガ之ニ匹
敵スル譯デアリマス、元來營業ニ關係スルコトデアリマスカラ、地方デ申シマスト、商工課ニ
當ル譯デアリマスガ、商工課ノ關係者ヲ第二ノ機關ト考ヘテ居リマス、第一段デハ工場課ノ職

員、第二段ニ於テ商工課ノ關係者、是ハ手傳ツテ貰フト云フ第二義ノモノデアリマス、最後ニ
手ノ足りナイ場合、已ムヲ得ナイ場合ニハ、警察官吏ニモ手傳ツテ貰フト云フコトニシテ居リ
マスケレドモ、原則トシテハ警察官吏ハ動キマセヌ、命令ヲ受ケ、囑託ヲ受ケタ範圍デ警察官
ハ動ク、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、本來ノ當該官吏ト云フノハ、警察ヲ目標トシテ居
ラヌノデアリマス、臨檢ト申シマシテモ、決シテ飲食店或ハ料理業店ノ臨檢ト同ジ趣旨デ、立
案シタモノデハナイノデアリマス、工場課乃至商工課ガ動キマシテモ、ドウシテモ目的ガ達セ
ラレナイト云フ場合ニハ、例外的ニヤハリ警察官ニ立會ツテ貰フ、サウ云フコトハ豫想シテ居
リマス

臨檢ノ必要ト其ノ意

問 殊ニ此ノ臨檢ナドト云フコトハ、何カ違法ノコトデモ始終ヤツテ居ルヤウナ商業デアリハセ
ヌカト云フヤウナ虞ノアル者デアレバ別デアリマスガ、ソレハ又警察ノ方デ別ニ取締ガ嚴ニ付
イテ居ルノデスカラ、時間ノ勵行ダケヲ見ルコトハ閉店シテ居ル所ヲ開ケテ居レバ、唯注意ス
ルト云フコトダケデ、臨檢ト云フコトハ、但シ使用人以外ノ居室ニハ入レヌトカ云フヤウナ規

定ハ是ハドウ云フ場合ニ必要ガアルノデアリマセウカ、十一條ハ丁度貸座敷等ノ不法ナ營業デモヤツテ居ル者ノ取締ノ規定ト同ジヤウナモノデ、之ヲ一般ノ小商店ニ向ツテ御加ヘニナルト云フ必要ハ絶對ニナイノヂヤナカラウカト、斯ウ思フノデアリマスガ、何カアルノデセウカ

答 十一條ノ臨檢ノ問題ニ付キマシテハ只今御尋ニナリマシタ通り、小サナ商店デハ閉店シテ居ルカドウカト云フコトハ、大體ノ場合ニ外カラ見レバ分ル譯デアリマス、休日ニ致シマシテモ毎月一回ダケノコトデアリマスカラ、サウ臨檢ヲ始終定期的ニヤラナケレバナラスト云フヤウナ必要ハナイト考ヘテ居リマス、又商店ノ數ニ致シマシテモ、極ク概數デアリマスケレドモ、都市ニ於ケル商店ノ數ガ百萬ト云フヤウナ數ニナツテ居リマスカラ、連モ一々臨檢スルト云フコトハ事實上出來ナイコトデアリマスシ、又私共運用スル立場カラ申シマシテ、臨檢ヲ定期的ニ、或ハ屢ヤレト云フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌノデアリマス、併シ多數ノ中ニハ矢張りヤリ方ノ餘リ良クナイ者モアラウト思ヒマスシ、更ニ又第九條ニ「危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ店主ニ命ズルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザイマスガ、是モ現在法規命令デ詳シイ規定ヲ作ルト云フ迄考ヘテ居リマセスケレドモ、或ハ災害ガ起ツタ場合、或ハ非常ナ衛生

上ノ問題ガ起ツタト云フヤウナ場合ニ、是ハ又別ニ衛生的立場カラ臨檢ノ出來ル場合モアラウト思ヒマスガ、危害ノ防止共ノ他ノ場合ニ於テ、小サナ商店デアリマセウトモ、矢張り例外トシテ、特ニ必要ナ場合ニハ臨檢ガ出來ルト云フヤウナコトヲ置キマセヌト、ドウモ我々トシテ困ルノヂヤナイカ、斯ウ云フ意味合デゴザイマシテ、決シテ小サナ商店ヲ片ツ端カラ臨檢スルシト云ツクヤウナ氣持ハ毛頭持ツテ居リマセヌノデアリマス、其ノ點ハ此ノ法律ガ制定ニナリマタ場合ニ於キマシテ、運用上十二分ニ注意致シテ行キタイト考ヘテ居ル次第ナノデアリマスソレカラ先程チヨット申シ落シマシテゴザイマスガ、十一條ノ臨檢ノ所デ小サナ商店ノコトダケヲ申シマシタガ、五十人以上ノ大キナ商店ニナリマスト、第八條、第九條ニ依リマシテ、工場法ト同ジヤウニ、年少者及女子ニ付キマシテハ休日モ多クナツテ居リマスシ、或ハ就業時間ト云フヤウナコトモ特ニ規定ガゴザイマスノデ、斯ウ云フ方面ニハドウシテモ臨檢ノ必要ガアルノデナイダラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

問 臨檢ト云フノハ一種特別ナ意味ヲ持ツテ居ル、サウ云フ風ニ私ハ考ヘマスガ、ドウ云フ譯デ、是ハ臨檢ト云フ文字ヲ御使ヒニナツタモノデアリマセウカ

答 臨檢ノ文字ノ問題デゴザイマスガ、大分サウ云フ御意見ヲアツチコツチデ伺フノデアリマス私ノ方ト致シマシテモ色々研究ハ致シタノデアリマスガ、ドウモ、ウマイ文字ガアリマセヌノデ前例ヲ追ヒマシテ臨檢ト云フノヲ使ツタヤウナ譯デアリマス、此ノ勞働者保護立法ニ付キマシテハ同ジヤウナ字ガズツト使ハレテ居リマス、勿論是ハ相當古イコトデアリマシテ、最近ノ例トシマシテハ餘リ澤山調ベタ譯デハゴザイマセヌガ、昨年法律ニナリマシタ百貨店法ニ同ジヤウナ規定ガアルノデアリマス、百貨店法ニハ臨檢ダケデハゴザイマセヌ、臨檢シテ尙業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得ト云フノデ、行ツテ見ルダケデナク色々帳簿其ノ他ノモノヲ検査スルコトガ出來ル權限迄與ヘテ居リマスガ、此方トシテハ實ハ色々帳簿ヲ見ル迄ノ必要ハナカラウ、行ツテ見レバ宜シイト云フ程度デ、色々實ハ此ノ點ハ研究シタノデアリマスケレドモ、前例モゴザイマスノデ、ソレニ從ヒマシタト云フダケデ、其ノ外ニ特ニ意味ハゴザイマセヌ

〔参照〕

百貨店法 (昭和十二年八月十四日)
法律第七十六號

第十七條 行政官廳ハ百貨店業者又ハ百貨店組合ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ百貨店業者又ハ百貨店組合ノ店舗、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムヘシ

第十二條 店主ハ店舗ノ管理ニ付一切ノ權限ヲ有スル店舗管理人ヲ選任スルコトヲ得

店主本法施行地内ニ居住セザルトキハ店舗管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

店舗管理人ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレハ其ノ效力ヲ生セズ但シ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者及支配人ノ中ヨリ選任スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 前條ノ店舗管理人ハ本法及本法ニ基キテ發スル命令ノ適用ニ付テハ店主ニ代ルモノトス

店主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治産者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テ店舗管理人ナキトキハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ付亦前項ニ同ジ

第十四條 店主又ハ前條ノ規定ニ依リ店主ニ代ル者第二條第一項、第五條、第七條第一項第二項又ハ第八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十五條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十六條 店主又ハ第十三條ノ規定ニ依リ店主ニ代ル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ

第十二條 第十三條 第十四條 第十五條 第十六條

他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十七條 本法及本法ニ基キテ發スル命令ハ營利ヲ目的トセザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス店舗ニ之ヲ準用ス但シ國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ付テハ店舗管理人ニ關スル規定及罰則ハ此ノ限ニ在ラズ

本條ニ所謂營利ヲ目的トセザル物品販賣若クハ理容ノ事業ノ意

問 十七條デチヨット御尋ネシテ置キマスガ「本法及本法ニ基キテ發スル命令ハ營利ヲ目的トセザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス店舗ニ之ヲ準用ス」トゴザイマスガ、先ヅ伺ヒタイノハ、營利ヲ目的トセザル物品販賣若シクハ理容ノ事業ト云フノハドシナモノデスカ、御例示ヲ願ヒタイノデアリマスガ、ソレガ一ツ、但書ニ、國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキ事業ナドガサウデアラウト思フノデアリマスガ、マダ其ノ他ニ私設ノ組合トカ、俱樂部トカ、何トカ云フ所デ便宜會員ヲ主トシテ販賣シテ居ルトカ、理容ヲヤツテ居ルトカ或ハソレガ擴充サレテ社會ノ者モ海外ノ者モヤラレルト云フヤウナ、廣クヤツテ居ルト云フヤウナソシテ、事業カト思ヒマスガ、若シサウ云フモノデアツタナラバ、ソレコソ自由ニシテオ置キニナツテ本法ノ制限

ト云フコトハ、準用ト云フコトハ、要ラヌヤウニ思ハレルノデアリマスガ、ソレ迄ドウモ矢張り店員ノ保護ト云フヤウナコトニ御考ニナルノハ親切ニ過ギテ却テ又不便ヲ一方デ來ス、斯ウ云フヤウナ感モスルノデアリマスガ……サウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、二點ニハソレヲ伺ヒタイト存ジマス、果セル哉私ノ想像ノ通りナレバ、但書道府縣ノ事業等ニ付テハ店舗管理ノ規定デアルトカ、罰則ハ此ノ限ニ在ラズトカ、罰則ヲ適用セヌト云フコトデアリマスガ思切ツテ十七條ヲ削ツテシマツテハドウカト思ヒマスガ、ソレハ私ノ第一ノ御問ノ又關係ニ依ツテ誤解シテ居ルカモ分リマセヌガ、一應御説明ヲ願ヒマス

答 御質問ノ第一點ハ、大體只今御述ニナリマシタヤウナモノヲ豫想シテ居ルノデゴザイマシテ但書ニ書イテアリマス「國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノ」、此ノ外ニハ、例ヘバ、産業組合ノヤツテ居リマスヤウナ事業ヲ「營利ヲ目的トセザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス」ト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ第二點ハ、斯ウ云フヤウナモノハ、此ノ商店法カラ除イタラ宜イデヤナイカト云フ御問ノヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、之ニハ二ツノ理由ガゴザイマシテ、其ノ一ツハ只今ノ御話ニモゴザイマシタ通り、之ニ働イテ

居ルカラト云ツテ、保護ヲ奪フ理由ハナイデハナイカ、使用人ノ保護ト云フ點ニ付テ彼此差別スル理由ガナイト云フノガーツデゴザイマシテ、モウ一ツハ、同ジヤウナ趣旨デゴザイマスガ斯ウ云フ店ト、一般ノ私人ノ經營シテ居リマス店トガ法ノ適用ヲ別ニ致シマスト、自カラ不當ナ競争ガ行ハレル、斯ウ云フモノモ一般ノ私營ノ、私ノ經營シテ居ル事業モ同ジヤウニ、閉店時刻ト云フモノヲ適用シテ行カナケレバ、不當競争ガ起リマシテ、圓滑ニ此ノ法ガ施行シ得ナイヂヤナイカト云フ、此ノ二ツノ理由ニ依リマシテ第十七條ヲ置イタ譯デアリマス、尙店舗管理人ニ關スル規定及罰則ヲ、是等ノ公共團體ト申シマスカ、是等ノモノニハ適用シマセヌノハ前例ニ依リマシテ除イタ譯デゴザイマス

本條但書ニ所謂「國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ付テハ店舗管理人ニ關スル規定及罰則ハ此ノ限ニ在ラズ」ノ意

問 第十七條ノ後段ニアリマスル但書ノ以下「國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ付テハ店舗管理人ニ關スル規定及罰則ハ此ノ限ニ在ラズ」トシテ除外サレテ居ルノハ、ドウ云フ意思ガ含マレテ居ルノデアルカ

答 是ハ別段特ニ除外シタ理由ト云フ風ニ御解釋ニナリマス可笑シイノデスガ、國、道府縣、市町村ナドニ付キマシテ罰則ヲ適用シナイノハ、是ハ原則デアリマス、ソレカラ又店舗管理人ハ、國ナリ公共團體デ斯ウ云フ販賣ヲヤツテ居リマス場合ニハ、別段ニ管理人ヲ設ケマセヌデモ、自ラ中ノ組織ニ依リマシテ責任者ガ明ニナルノデアリマスカラ、店舗管理人ニ關スル規定ヲ斯ウ云フ場合ニハ適用シナイ又罰則ヲ適用シナイ、コレハ一般ノ原則デアリマス

第十八條 本法ハ汽車、汽船其ノ他ノ交通機關内ニ於ケル店舗及露店ニ之ヲ適用セズ
 行政官廳ハ物品販賣業ヲ營ム露店ニ付終業スベキ時刻ヲ定ムルコトヲ得

一般店露ト本法トノ關係

問 十八條ノ一般露店ニ付テハ是ハドウ云フ御方針デアリマセウカト

答 第十八條ノ第一項ニ依リマシテ露店ハ此ノ法律ノ適用外ニ置イタ譯デアリマス、隨ヒマシテ閉店時刻モ休日モ何等規定ノ效果ガ及バナイ譯デアリマス、併ナガラ無制限ニ致シテ置キマス

ト普通ノ商店ノ方ハ十時ニ閉メナクテハナラヌガ其ノ道路ヲ隔テテ並木ノ下デハ露店ガ晝夜ヤツテ居ルト云フコトニナリマス、ソコニ所謂不當競争ガ起ル虞ガ多分ニアリマスノデ、露店ヲ閉メル適當ナル時刻ヲ行政官廳ガ定メテ宜シイト云フ根據ニナル規定ヲ茲ニ設ケタ譯デアリマス、場合ニ依ツテハ一般ノ商店ト同ジヤウニ露店ヲ閉メサセルコトモアリマセウシ、或ハ場合ニ依ツテハ三十分一時間ハ延バシテモ宜イ場合ガアルカト思ヒマス、サウ云フ場合ハ全部行政官廳ガ適當ニ判斷ヲシテ、露店ニ關スル就業時刻ヲ定メテ宜シイ、斯ウ云フ積リデ置キマシタ規定デアリマス

× × × × ×

〔終〕

昭和十三年六月十三日印
昭和十三年六月十八日發行

商店法解説
定價三十五錢

編輯者 日本檢察學會

東京市神田區錦保町三丁目二十九番地
日本檢察學會代表

發行者 山田直次郎

東京市神田區錦保町三丁目二十三番地

印刷者 大山尊

東京市神田區錦保町三丁目二十三番地

印刷所 正芳會印刷所



發行所

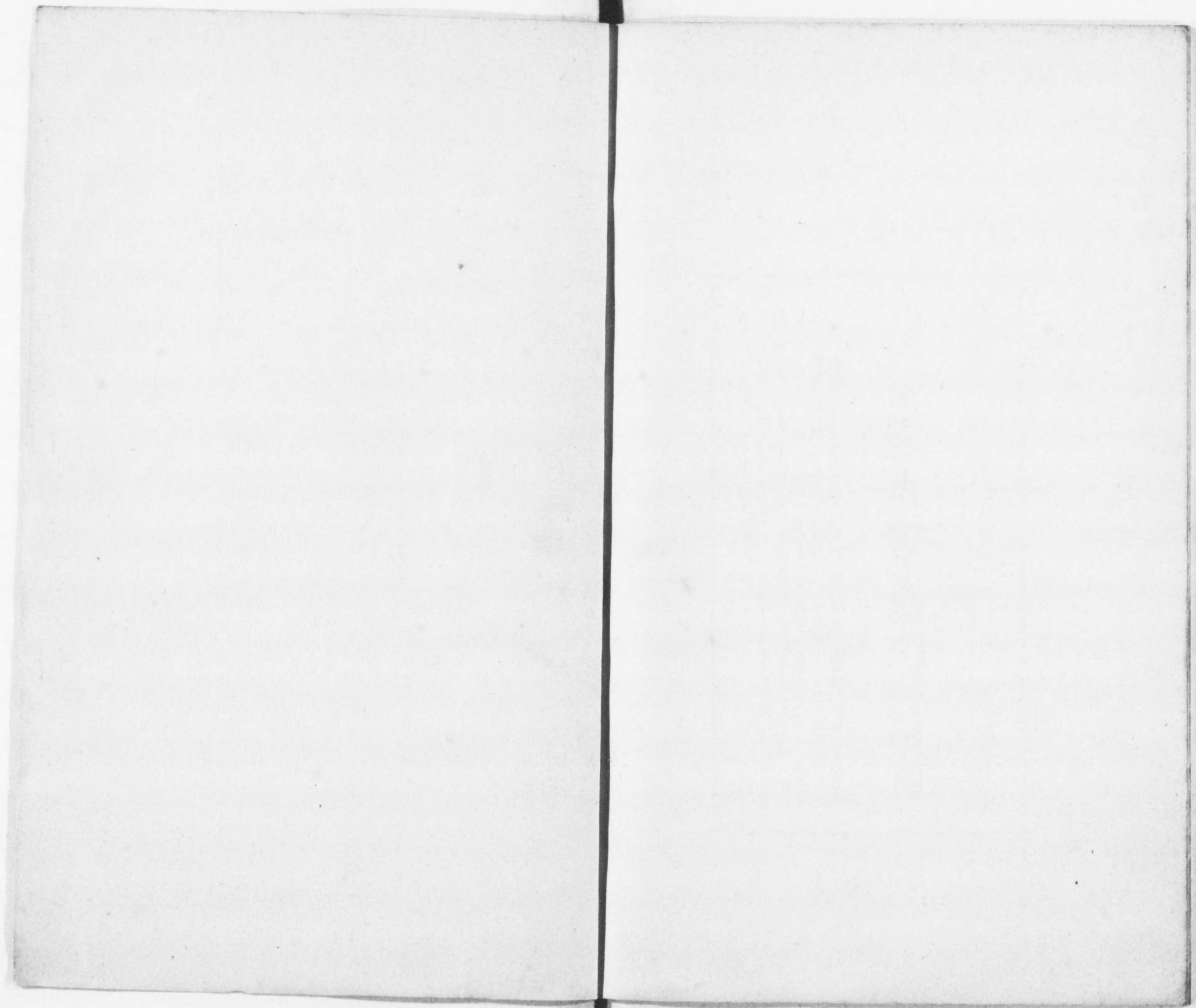
東京市神田區錦保町三丁目二十九番地
電話東京一五五四一
電話九段三〇四六

立興社

内藤 隆 著 菊版三一二頁 定價二圓五十錢
クロース上製函入 送料 十八錢

自分で商標の出願手續と誰にも判例
できる

出願・請求其の他の手續を始め、出願拒絶に對する意見書、答辯書及辯駁書等總て本書の通り認めて提出すれば宜しい、又參考となる必要な審判及判決が收められて居るから、何人の仲介なくとも商標權を獲るに付ての一切の手續が自分で出来る。言ふ迄もなく自己の製造、加工、販賣にかゝる獨占の商標品なることを表はす商標權を強化し、不正競争を防止して營業上の信用を確保することは商人にとりて一番大切だ。



終

